

2021年3月期 第2四半期決算



The First Section of the Tokyo Stock Exchange 3034

クオールホールディングス株式会社

(東証一部：証券コード 3034)

目次

I 決算概要

II セグメント別業績

III 成長戦略進捗と事業概況

IV トピックス

I 決算概要

■ 調剤薬局事業：減収減益

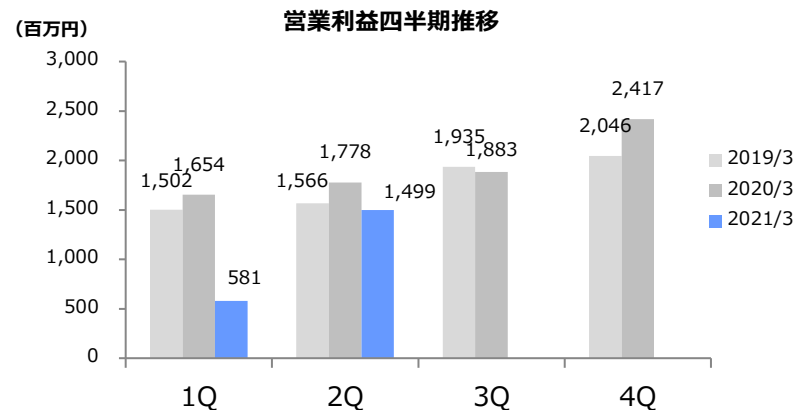
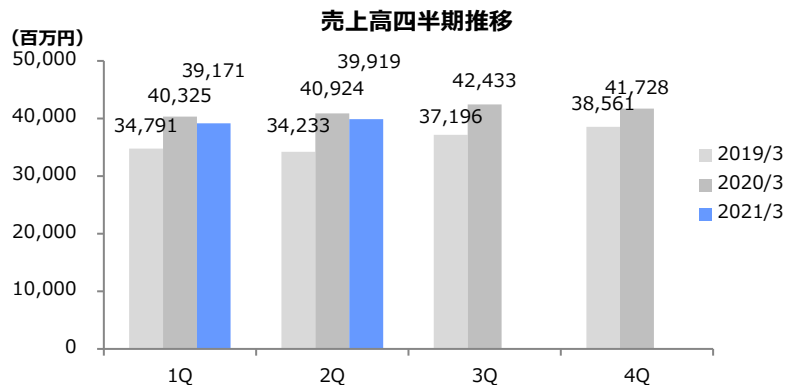
- ✓新型コロナウイルスの影響による医療機関への受診控え及び医療機関の外来診療の抑制による受付回数減少（月により▲5%～▲20%）があったものの、処方長期化に伴い処方箋単価が上昇し売上高は723億3600万円で前年同期比より微減
- ✓利益面においては、コスト適正化プロジェクトの一定の効果等により期初予想を上回る16億400万円（2020年10月22日結業績予想の修正済）であったものの前年同期比で減益

■ 医療関連事業：増収増益

- ✓新型コロナウイルスの影響はあったもののCSO事業が取引メーカー数が業界トップクラスであるため安定的な需要の確保
- ✓医薬品製造販売事業は自社製品の販売促進と既存資産の利活用、経費見直しにより収益が改善

2021年3月期2Q 連結業績ハイライト

(単位：百万円)	2020/3期 2Q実績	2021/3期 2Q実績	増減	増減率 (%)
売上高	81,249	79,090	△2,158	△2.7%
営業利益	3,432	2,080	△1,352	△39.4%
経常利益	3,616	2,109	△1,507	△41.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,830	630	△1,200	△65.6%
1株当たり 四半期純利益 (円)	47.90	16.75	△31.15	△65.0%



(単位：百万円)	2021/3期 2Q計画 (業績予想修正前)	2021/3期 2Q計画 (業績予想修正後*)	2021/3期 2Q実績	2021/3期 通期計画	進捗率 (%)
売上高	77,500	79,090	79,090	165,500	47.8%
営業利益	800	2,080	2,080	6,500	32.0%
経常利益	800	2,109	2,109	6,500	32.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	200	630	630	3,300	19.1%
1株当たり 四半期純利益 (円)	5.27	16.75	16.75	87.64	19.1%

*2020年10月22日発表

(単位：百万円)	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q	増減	増減率 (%)
売上高	81,249	79,090	△2,158	△2.7%
売上原価	71,121	70,008	△1,112	△1.56%
売上総利益	10,128	9,082	△1,046	△10.3%
販管費	6,695	7,001	306	4.6%
営業利益	3,432	2,080	△1,352	△39.4%
利益率(%)	4.2%	2.6%	-	-
経常利益	3,616	2,109	△1,507	△41.7%
利益率(%)	4.5%	2.7%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,830	630	△1,200	△65.6%
利益率(%)	2.3%	0.8%	-	-

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2020.3.31	2020.9.30	増減
流動資産	45,881	41,903	△3,978
現金及び預金	15,802	13,764	△2,037
固定資産	56,976	55,993	△982
有形固定資産	13,055	12,981	△73
無形固定資産	36,642	35,529	△1,112
資産合計	102,872	97,909	△4,963
流動負債	38,730	38,043	△687
固定負債	23,139	18,812	△4,327
負債合計	61,870	56,855	△5,015
有利子負債	32,669	30,396	△2,273
純資産	41,001	41,053	51
自己資本	40,516	40,491	△24
負債純資産合計	102,872	97,909	△4,963

	(百万円)
流動資産	△3,978
現金及び預金の減少	△2,037
売上債権の減少	△1,892
固定資産	△982
無形固定資産の減少	△1,112
流動負債	△687
固定負債	△4,327
長期借入金の減少	△,3641
純資産	51

自己資本比率：41.4%

- ・ 手元資金の適正化
 - ・ 当貸枠等の融資枠の拡大
- **強固な財務基盤**
- **変化への即応体制**

(単位：百万円)	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	2,430	2,862
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,719	△ 2,027
フリーC/F	△5,288	835
財務活動による キャッシュ・フロー	3,346	△ 2,875
うち配当金の支払額	△544	△ 530
現金・現金同等物の 増減額	△1,942	△ 2,040
現金・現金同等物の 期首残高	20,193	15,766
現金・現金同等物の 期末残高	18,251	13,726

	(百万円)
営業活動によるキャッシュフロー	+2,862
売上債権の減少	1,942
税金等調整前四半期純利益	1,886
法人税等の支払額	△2,556
投資活動によるキャッシュフロー	△2,027
有形固定資産の取得による支出	△1,139
敷金および保証金の差入	△448
事業譲受による支出	△573
財務活動によるキャッシュフロー	△2,875
短期借入金の純増減額	2,000
長期借入金の返済による支出	△4,713
社債の償還	△554
配当金の支払	△530

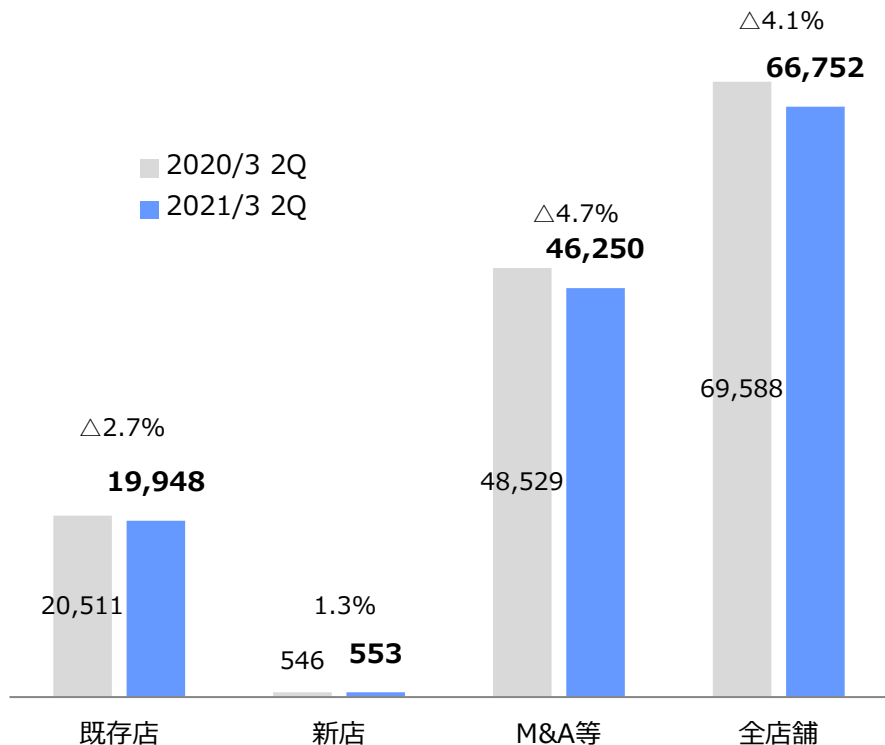
- **健全な財務基盤を維持**
- **潤沢な資金調達余力を活用し
M&Aや連携を機動的に実施**

Ⅱ セグメント別業績

(単位：百万円)	2020/3期 2Q	2021/3期 2Q		
		実績	経営管理料	調整後
調剤薬局事業売上高	75,639	72,336	－	72,336
セグメント利益	3,813	1,604	797	2,402
利益率(%)	5.0%	2.2%	－	3.3%
医療関連事業売上高	5,609	6,754	－	6,754
セグメント利益	779	871	63	935
利益率(%)	13.9%	12.9%	－	13.8%

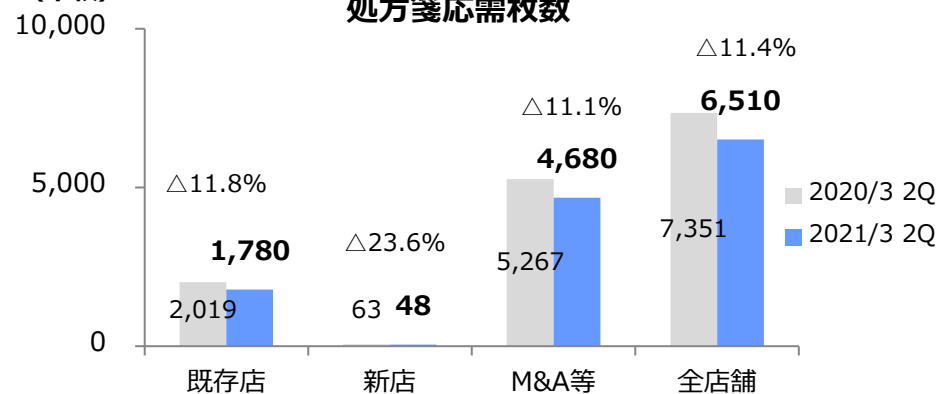
調剤売上高 (百万円)

(調剤売上高=処方箋応需枚数×処方箋単価)



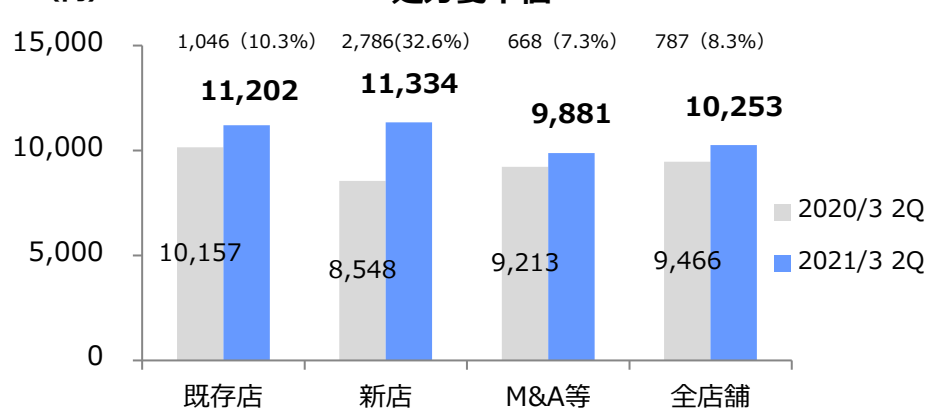
(千枚)

処方箋応需枚数

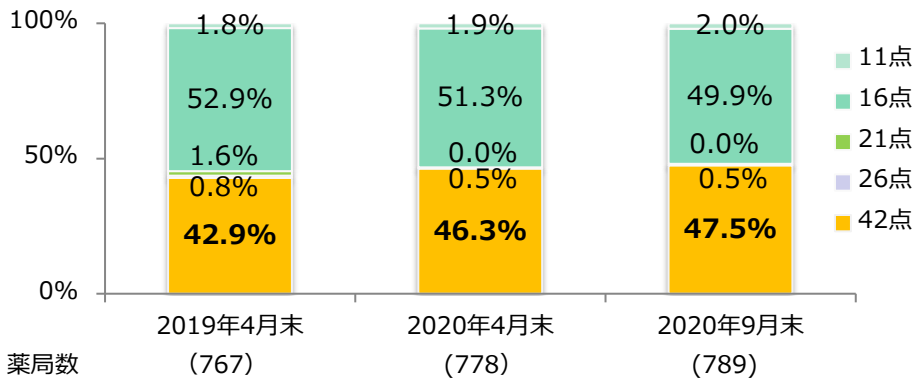


(円)

処方箋単価

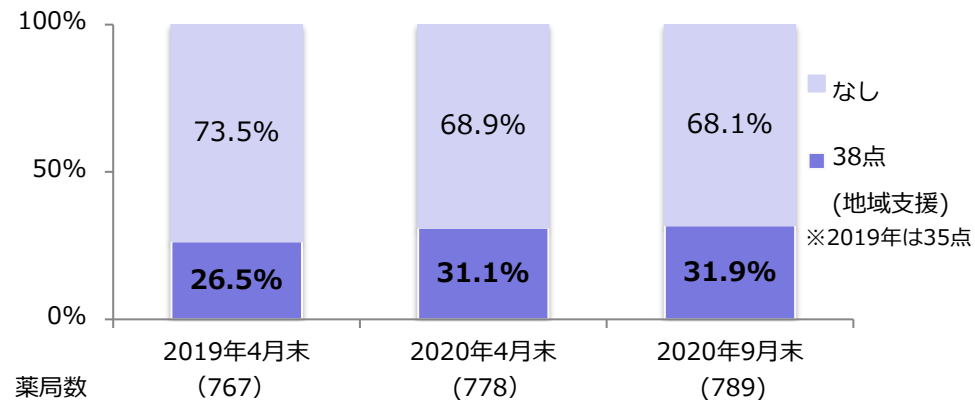


調剤基本料 店舗割合

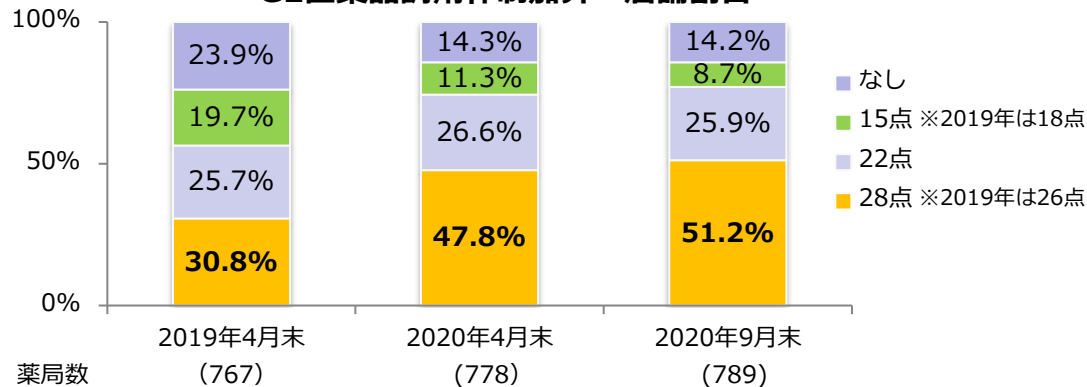


地域支援体制加算 店舗割合

(連結ベース)

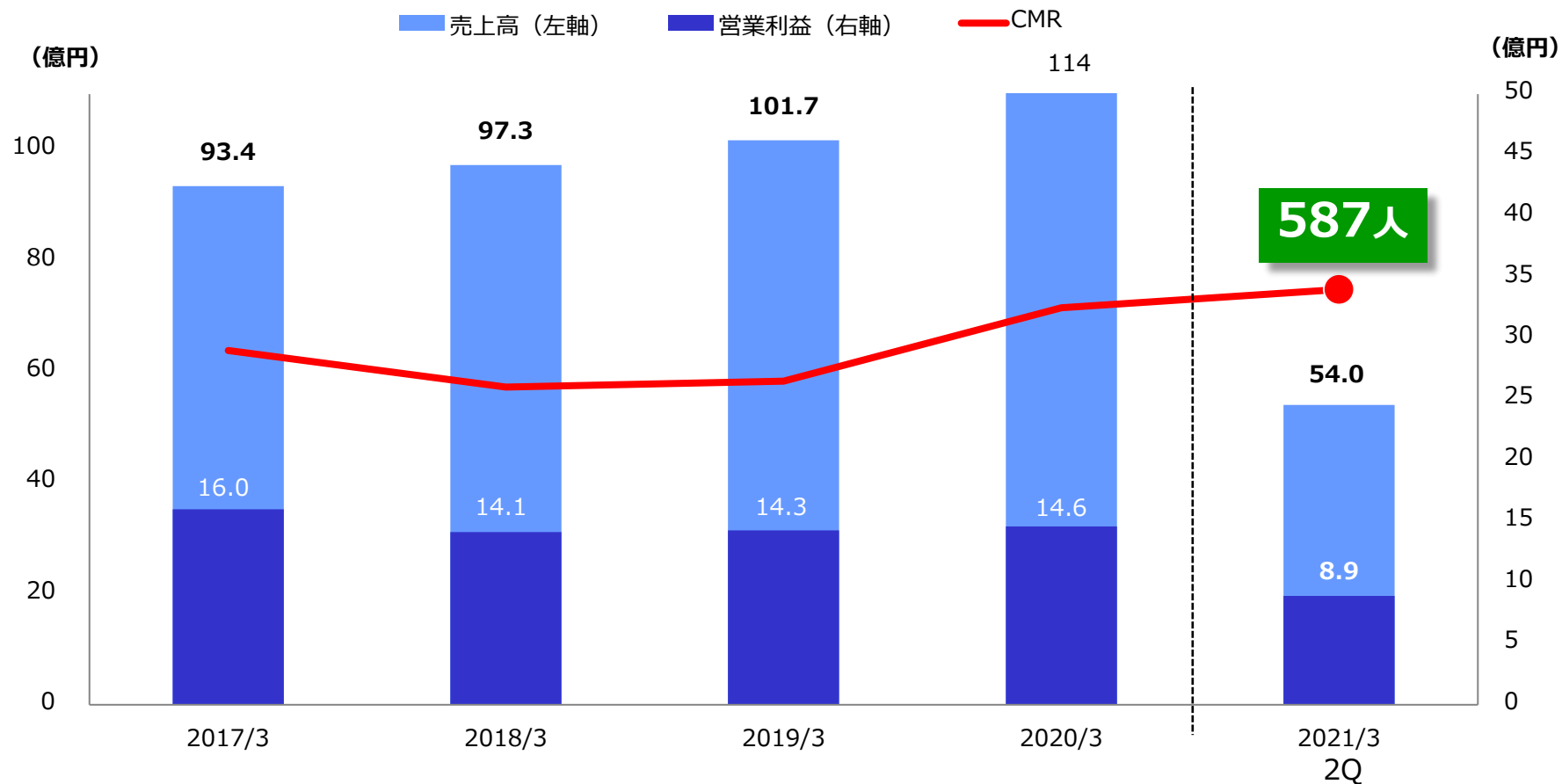


GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



GE変更率 (数量ベース)

82.9%
(2020年9月)



Ⅲ 成長戦略進捗と事業概況

調剤

売上成長
安定収益

医療関連

- ・CSO (CMR派遣)
- ・医療人材紹介派遣
- ・医薬品製造販売

高収益事業

■ 規模拡大

新店 (10~20店)

M&A (30~70店)

■ 付加価値向上

■ 利便性

■ 規模拡大

成長余地の大きい

分野のシェア拡大

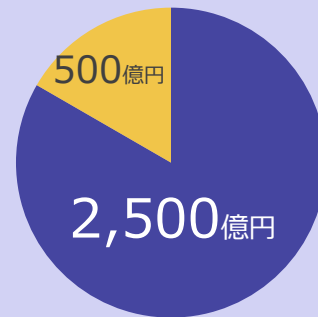
■ 専門性

DX

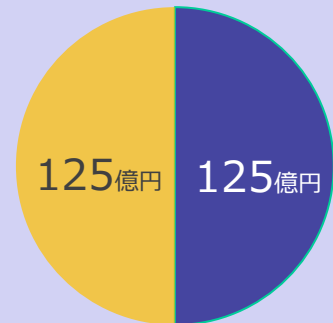
構造
改革

中期目標

売上高 3,000億円



営業利益 250億円



調剤薬局事業

戦略的出店による
規模の拡大

調剤薬局事業

薬局の
価値創出

医療関連事業

専門性の深化

医療関連事業

グループシナジー
の最大化

基本方針

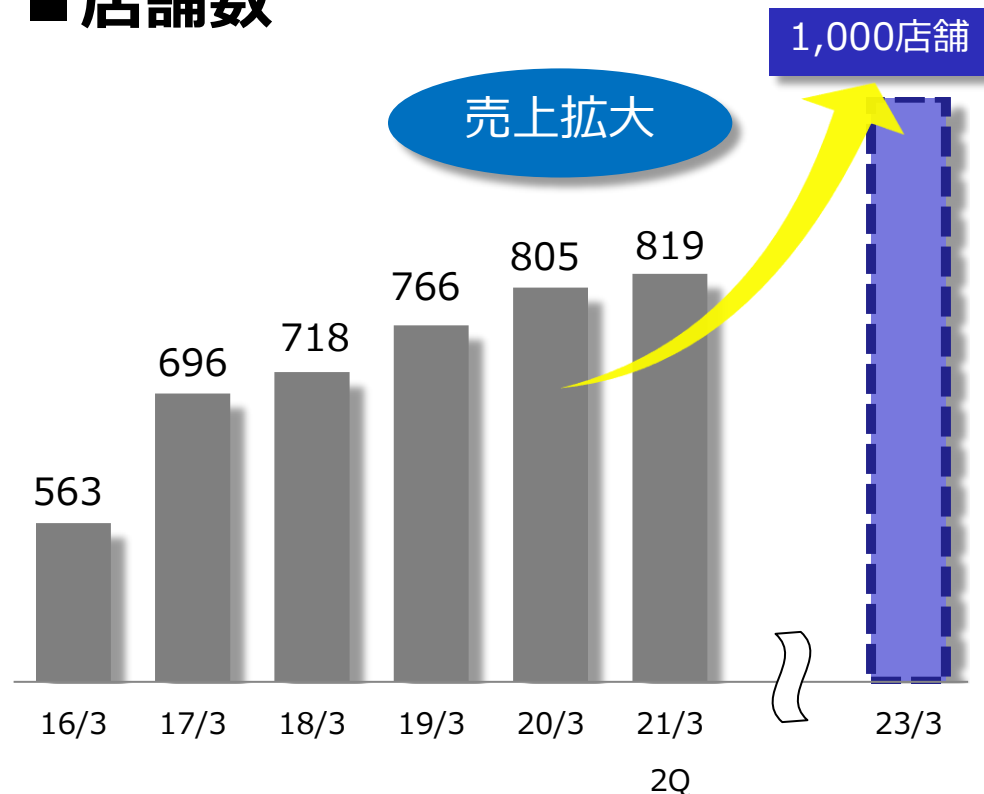
出店による規模拡大

東名阪中心

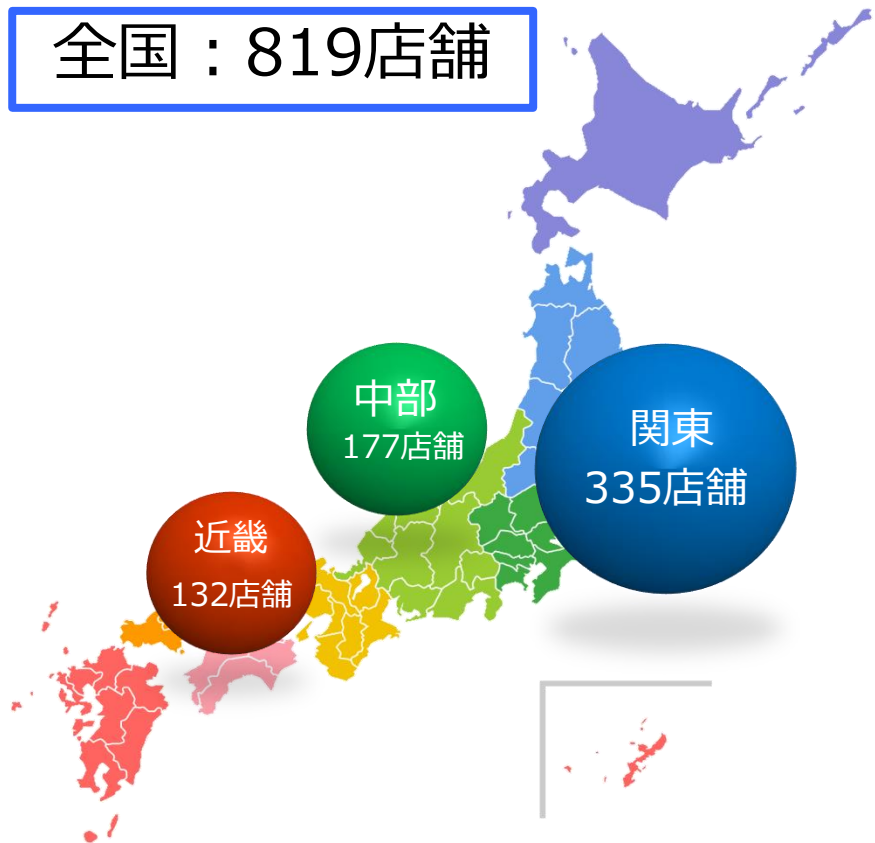
M&A基準の厳格化

新業態店舗 推進

■ 店舗数



全国：819店舗

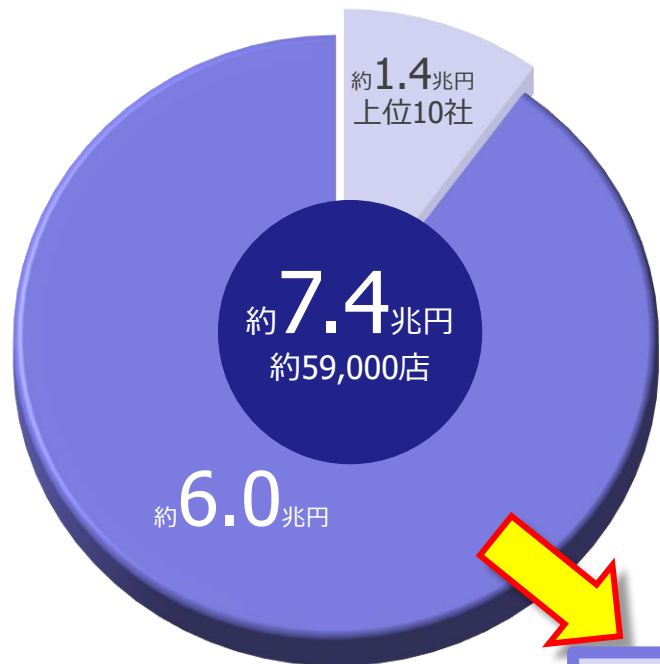


■ 出店数

	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 2Q
新店	18	20	17	18	13
M&A	125	14	50	39	7
売店	0	1	0	3	1

M&A中心とした
企業規模拡大

■ 調剤マーケット規模



(引用：2020年7月15日号
ダイヤモンド・ドラッグストア)

集約化
拡大余地あり

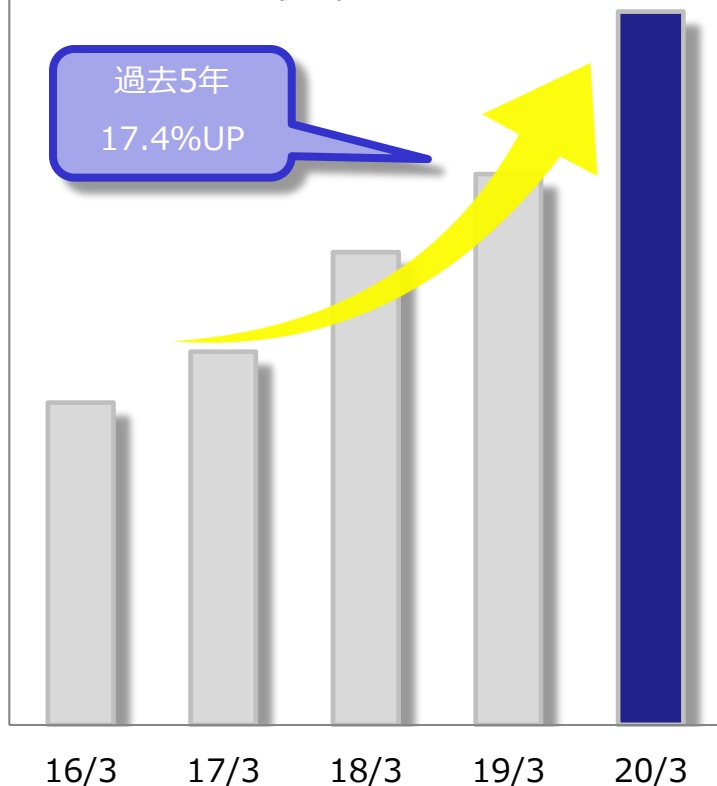


ターゲットとなる
店舗年商の厳格化

✓大型案件への積極投資

2020年7月15日号ダイヤモンド・ドラッグストア
2020年7月号DRUG magazineより当社推計

ローソン協業店舗売上



ウィズコロナ時代の新しい生活様式に対応 街ナカで力を発揮するサービス

①ロッカー 非接触受渡し



処方箋薬



OTC薬
サプリメント
健康食品

②処方せん送信アプリ 非接触受付



ナチュラルローソクオール薬局豊洲三丁目店

利用率25%

③オンライン服薬指導 非接触説明



ニーズにあわせ出店加速

地域連携薬局



在宅推進
無菌調剤



アフターフォロー拡充
プライバシーへの配慮

入退院時や在宅医療に
他医療提供施設と連携して
対応できる薬局

専門医療機関連携薬局



社内教育充実
他薬局への研修



他医療提供施設との連携
高度薬学管理への対応

がん等の専門的な薬学管理に
他医療提供施設と連携して
対応できる薬局

認定取得に
向けて準備

調剤機器やITを
活用した業務効率化



AIスピーカーによる
医薬品在庫チェック

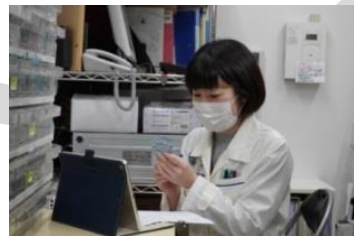


AI在庫需要予測発注で
医薬品の発注業務軽減



ロッカー
非接触受渡し

オンライン服薬指導



デジタル トランスフォーメーション

電子処方箋



企業認知の獲得



フジテレビドラマに
テレビCM



ビックカメラ有楽町店
大型看板

■ ウィズコロナ時代に社会的意義のある商品販売して薬局価値創出とともに売上を拡大



AIR BUSTER エアバスター



社会的意義の
ある商品販売

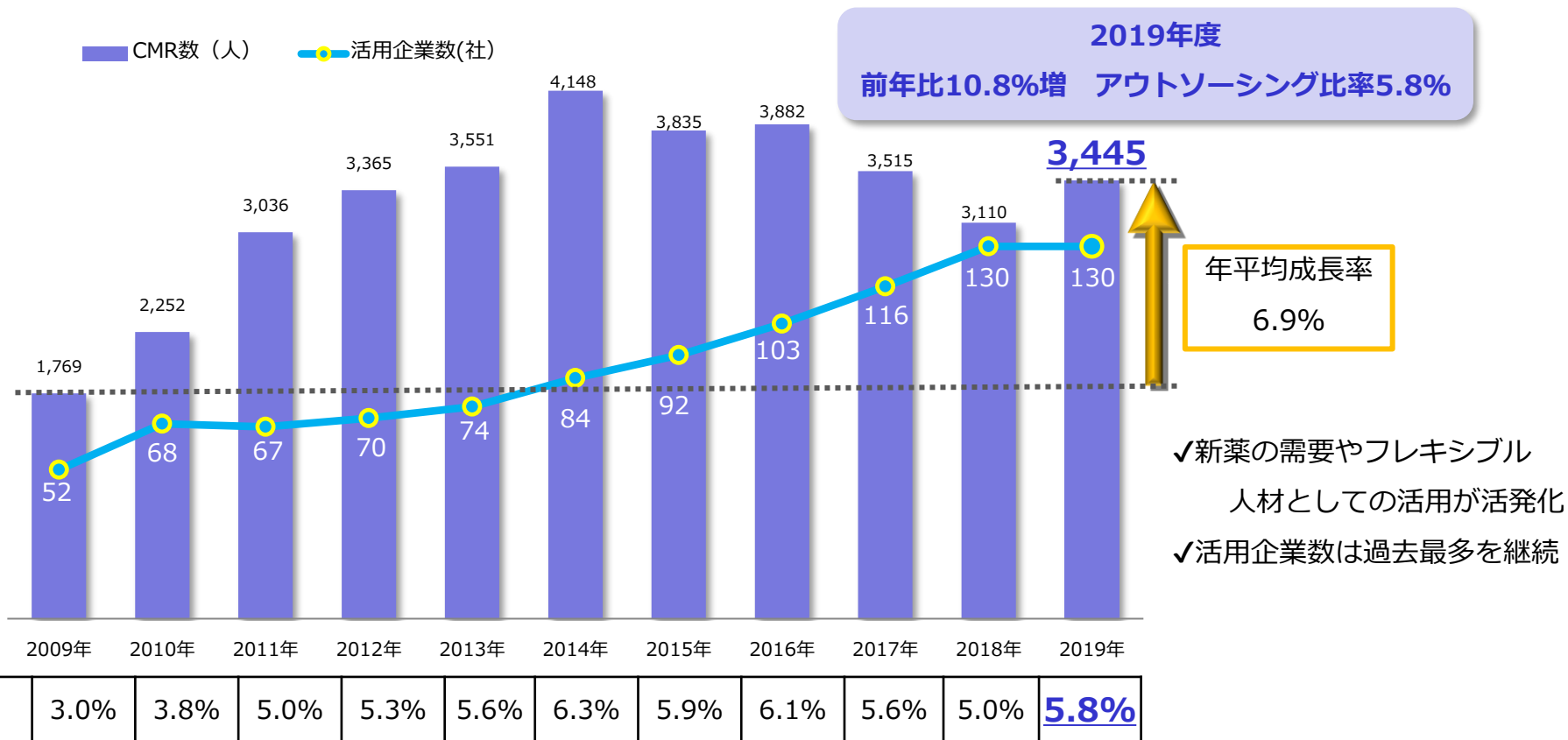


売上
拡大

年間1万台販売
売上20億円







奈良県立医大とクオールの共同研究で
世界で初めて「オゾンガス」により
新型コロナウイルスの不活性化を実証



- ✓新薬の需要やフレキシブル人材としての活用が活発化
- ✓活用企業数は過去最多を継続

(出所：日本CSO協会「わが国のCSO事業に関する実態調査-2019年度-」)

国	CSO 開始年	全MR数 (人)	CMRの 占める比率
 英国*1	1983年	10,000	13.0%
 ドイツ*1	1993年	13,000	16.9%
 米国*2	1995年	59,000	12.0%
 日本	1998年	59,900 ^{*3}	5.8% ^{*4}

✓欧米並みにCMR比率が15%に成長する可能性
マーケットはまだ伸びしろあり

✓ウィズコロナ時代における製薬メーカーの
マーケティング体制の最適化により
人件費の変動費化が一層加速

*1, 2 日本 CSO 協会「わが国の CSO 事業に関する実態調査 -CSO 事業 20 周年特別号-」(2018)

*3 MR 認定センター「2019 年版 MR 白書」 *4 日本 CSO 協会「わが国の CSO 事業に関する実態調査 -2019 年度-」

専門領域強化

オンコロジー
領域
(ONC)

炎症性腸疾患
(IBD)

中枢神経疾患
領域
(CNS)

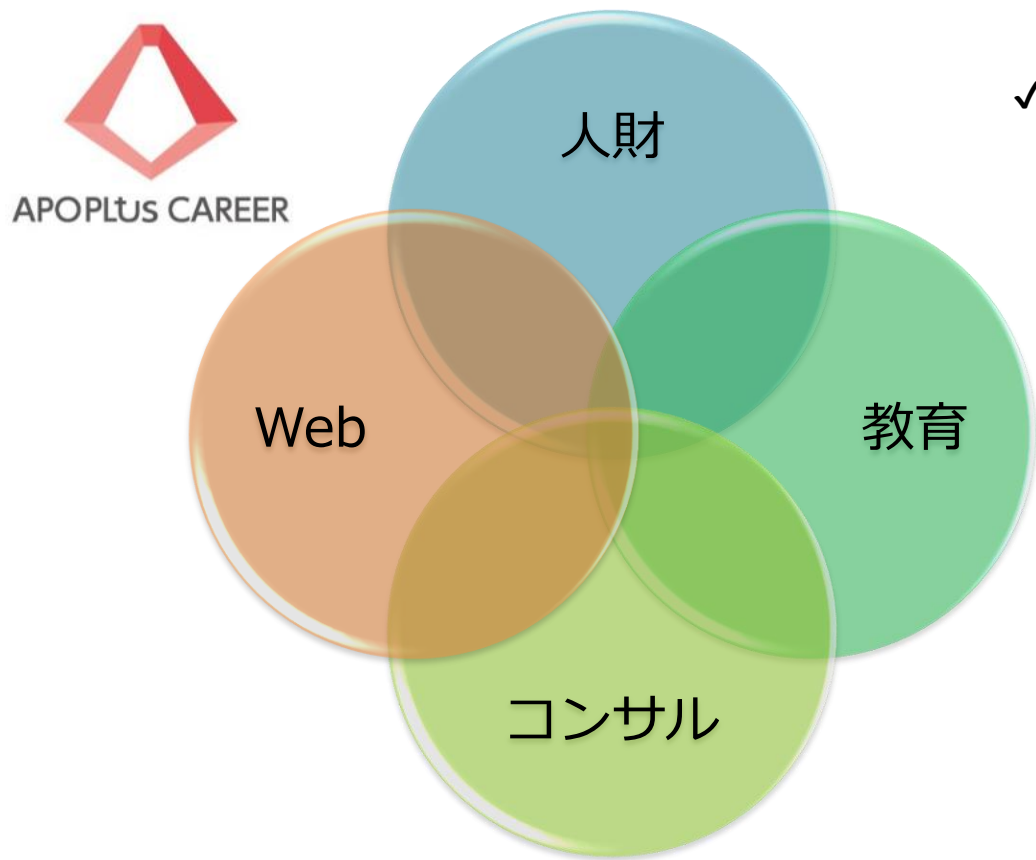
クオールアカデミー教育研修部との連携

高付加価値
CMR

587名

中期計画：1,000名





✓薬剤師、産業保健師、登録販売者、
調剤事務だけに留まらず職種の拡大

産業医、医師





藤永製薬株式会社

クオール薬局グループへ
藤永製品導入

品目数の増加

工場設備投資

M&A

大手製薬企業
連携

既存資産の
利活用



売上高
営業利益

増収増益を達成

先発品



後発品



- ✓先発品・後発品それぞれを取りそろえる
- ✓注射剤・軟膏剤など多様な剤形のラインナップ



ウィズコロナ時代に配信プラットフォームへ転換

■ 「配信環境」と「コンテンツ」を提供



- ✓ 講演会等のWeb化によりスタジオ稼働率増加
- ✓ グループ特性を生かし製薬企業等のクライアント数を拡大

IV トピックス



全社SDGs推進委員会を通じて “持続可能な、健康で豊かな社会” の実現に向け活動



- 健康フェア
- 認知症カフェ



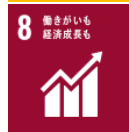
- 子育て大学
- お子様の誤飲防止
- 小・中学生に向けた薬物乱用防止教室動



- 女性が活躍する職場改革（L.A.D.Y.S 会議）
- 育休・育短の充実
- ママ薬剤師活躍の場の提供



- 環境マネジメントの強化
- 環境負荷の低減（LED照明・太陽光発電パネル）
- 環境に配慮したボランティア活動（地域清掃・美化活動）



- 働きやすく、働きがいのある環境の提供を開く
- 障がい者雇用の促進
- コンプライアンス管理、リスクマネジメント推進



- 薬剤師を中心とした専門職目線からの新しいヘルスケアモデル
- 環境配慮モデル店舗



- 生活に密着した様々なチャネルでアクセスが可能な店舗形態
- 障がい者雇用の促進



- 感染症ルーム
- 災害対策店舗
- 医薬品の安定供給
- 在宅・介護サポート



- 省エネ店舗
- 医療用廃棄物管理の徹底
- 資源リサイクル



- CO2削減設備店舗
- 環境配慮モデル店舗
- 太陽光発電パネル



- 環境美化ボランティア活動
- 店舗周辺美化清掃
- クールビズ・ウォームビズの推進
- ペーパーレス活動



- 外国人雇用（コンビニ）
- ひまわりの会
- コンプライアンス管理
- リスクマネジメント推進



- MBT（奈良県立医科大学）
- メイク・ア・ウィッシュ募金
- 日本の文化継承（小笠原流）

【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

T E L : 03-6430-9060

F A X : 03-5405-9012

E-mail : ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ : <https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることもあり、確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



あなたの、いちばん近くにある安心